

第2学年 英語科学習指導案

日 時 平成20年9月10日(水)
学 級 滝沢村立滝沢中学校 2年1組
(男子19名 女子20名 計39名)
授業者 教諭 八ツ役 真司

1. 単元名 Unit 4 Homestay in the United States (NEW HORIZON English Course 2)

2. 単元について

(1) 教材観

本単元は、米国でのホームステイが題材として取り上げられている。ホームステイのガイドブックから始まり、ホームステイ中のホストマザーとの対話、ホームステイに関する相談の場面へと展開されている。

ホームステイという非日常的な場面設定であるが、生徒にとっては関心が高い単元であると思われる。ホームステイという名の異文化交流の持つ本来的な難しさ、だからこそ伝え合い分かり合おうとする努力の尊さ、そしてほんの少しでもそれができた時の醍醐味、それらを感じ取らせることで、コミュニケーションに関する意欲を高め、課題解決の達成感を味わわせていきたい。

Reading for Communication は、題材内容の読み取りを主目標とし、それらの読み取りを基にした「書く」ことの表現活動に直結するよう構成されている。ホームステイに関する相談ついでの本場面の読み取りを一過程とし、本単元で学習する **have to** や **will, must** らの助動詞を用いながら、最終的には相手に簡単な助言や忠告ができるようなコミュニケーション活動へと結び付けていきたい。

(2) 生徒観

英語学習について、男女ともに意欲を持って学ぼうとする姿勢が見られる。口頭練習やコーラルリーディングでも元気に発音・音読し、既習事項に関しては、積極的に発表しようとする雰囲気もある。一方、未習事項においては、既習事項を推測したり、間違いを恐れずに発表したりしようとする力が弱いように思われる。

習熟度においては隔たりが大きい。教師の支援がほとんど必要ない生徒は、任意度の高い活動ほど意欲的に取り組み、オリジナリティに富んだ作文や対話を生み出すことができる。支援が必要な生徒の中には、授業に集中できずにいるものもあり、机間指導の中で声かけが必要である。

本単元で学習する助動詞については、1年時に **can** を学習している。助動詞の用法について、レディネスをそろえた段階で、指導に入りたい。

(3) 指導観

本単元では、**have to, will, must** といった助動詞を導入する。助言や忠告をする場面設定として、ホームステイの場面は好適であり、これらが日常場面で使用頻度の多い表現であることに気づかせたい。また、新出表現に関しては間違ふことに不安感を抱き、なかなか発話しようとならない生徒もいるため、スモールステップを数多く踏み、徹底したドリルを通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てたい。

また、本文を読み取ることについては、表面的・断片的な概要把握に留まることのないよう、時制、文型等の言語材料(代名詞、接続語、副詞句等)や文と文とのつながりに着目させた精読とのバランスに留意して指導したい。音読を重点的に行いながら、率直かつ丁寧に自分の意志を伝えることの大切さを知り、最終的には、本文を参考にして簡単な助言・忠告ができるよう高めていきたい。

(4) 指導の工夫

本時では「内容を読み取る力の育成」に重点を置いた授業展開を考えている。まず、教材分析を通して、生徒に読み取らせたい内容や身につけさせたい表現を精選したい。その上で、「概要把握」と「詳細理解」の2つの側面を意識し、段階を踏んで徐々に力をつけていけるように工夫して指導したい。「概要把握」については、短時間で大事な部分を読ませるために、①読み取りの観点を示す、②キーセンテンスを見つけさせる、③パラグラフ構成を意識させる、④内容によっては複数ページを読ませ、概要を把握させる、などの工夫をしたい。さらに、授業時間内の音読練習の質・量ともに充実させ、その中で「詳細理解」を深化させつつ、読み取りを確かなものにしていきたい。

3. 単元の目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・発言やペア活動などの諸活動に積極的に取り組もうとしている。
- ・相手や周囲の状況を考えながら、簡単な助言や忠告をわかりやすく伝えようとしている。

(2) 表現の能力

- ・助動詞 (have to, will, must) を用いて、簡単な助言や忠告を表現できる。
- ・場面や登場人物に応じた音読をすることができる。

(3) 理解の能力

- ・助動詞 (have to, will, must) を用いた情報や意見などの内容を正しく理解できる。
- ・ホームステイを題材とした文を読んで、その内容を正しく理解できる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

- ・助動詞 (have to, will, must) の意味・用法を正しく理解している。
- ・ホームステイを題材として、コミュニケーションの基本的態度についての知識を身につけることができる。

4. 指導計画及び単元の評価規準 (別紙)

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ペア活動を含めた音読練習や発表に積極的に取り組もうとしている。
- ・ホームステイに関する相談とそれに対する助言を読んで、内容を理解できる。
- ・場面や登場人物に応じて、工夫しながら音読することができる。

(2) 本時の評価規準と具体的評価規準

	評価規準	評価場面	具体的評価基準		Cへの支援
			A 十分満足	B 概ね満足	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペア活動を含めた音読練習や発表に積極手に取り組もうとしている	ペア活動音読発表	活動場面で積極的に活動し、それについて進んで発表したり、発言したりしている	活動場面で積極的に活動している	机間指導をしながら、会話の進まないペアを手助けする
表現の能力	場面や登場人物に応じて、工夫しながら音読することができる	教科書本文の音読	場面に応じて感情を込め、正確な発音やイントネーションでスムーズに音読することができる	ほぼ正確な発音やイントネーションで、ある程度スムーズに音読することができる	発音やイントネーションについて助言を与える。
理解の能力	ホームステイに関する相談とそれに対する助言を読んで、内容を理解できる。	教科書本文の読み取り	本文の内容を理解し、それに関するQ&Aに答えることができる。	本文の内容を理解することができる。	本文の内容について、読み取りのヒントを与える。

(3) 本時の展開

	指導過程	学習内容（生徒の動き）	教師の動き	留意点 ☆評価 ★教具
導入 10分	Greeting 1. Warm Up / Review 2. 課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 英語で挨拶する 前時の Dialog を数組発表する 教師が話す英語を聞き、話された内容を推測する 本時の課題をつかむ 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の観点を与え、スムーズに発表させる PC を用いながら、理解しやすい英文で話す 学習課題を提示、説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 発表者へ簡潔に評価を与える ★PC
奈々はどんな相談をし、先生はどんな助言をしているのだろう				
展開 35分	3. 課題の追求 ①本文の概要把握 ②文法・語法 の理解（精読） ③新出語句の練習 ④音読練習 ⑤内容に関する Q&A 4. 課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要を生徒同士で確認し、穴埋めの要約文（日本語）を完成させる 文法・語法のポイントや、代名詞の指す内容について確認する。 新出語句の発音練習、意味の確認をする 教科書本文の音読練習に取り組む Q&A に答える 文章の要点を考えながら、英語 3 文で要約文を完成させる 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りの観点を示し、短時間で取り組ませる ペアで確認させる 基本文を中心に、文と文とのつながりなどを重点的に考えさせる FC を用いて新出語句の発音練習、意味の確認を行う 様々な読ませ方を取り入れテンポよく読ませる ①Chunk Reading ②Sentence Reading ③Parallel Reading ④Individual Reading ⑤Pair Reading ⑥Presentation 音声ではなく、文字を与えて取り組ませる 伝達性を重視しつつも、文法的に正確な文章を書けるよう援助する 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習シートへの記入状況 簡潔に板書する ★FC 空読みではなく内容を考えて読むよう指導する ☆学習シートへの記入状況
終結 5分	5. 本時のまとめ 6. 次時の予告 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを聞く 次時の学習内容を確認する 英語で挨拶する 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のポイントを整理する 次時の学習内容を伝える 	

(4) 本時の評価

- ① ペア活動を含めた音読練習や発表に積極的に取り組んだか。（関心・意欲・態度）
- ② ホームステイに関する相談とそれに対する助言を読んで、内容を理解できたか。（知識、理解）
- ③ 場面や登場人物に応じて、工夫しながら音読することができたか。（表現）

時 数	単元名		単元の評価規準			
	4 単元の日標		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化
	助動詞 (have to, will, must) の文の 、意味、用法を理解し、表現できる。 ホームステイに関する文を読んで、その内容を理解することができる。		・発言やペア活動などの諸活動に積極的に取り組もうとしている。 ・相手や周囲の状況を考えながら、簡単な助言や忠告をわかりやすく伝えようとしている。	・助動詞(have to, will, must)を用いて、簡単な助言や忠告を表現できる。 ・場面や登場人物に応じた音読をすることができる。	・助動詞(have to, will, must)を用いた情報や意見などの内容を正しく理解できる。 ・ホームステイを題材とした文を読んで、その内容を正しく理解できる。	・助動詞(have to, will, must)の文の ・意味・用法を正しく理解している。 ・ホームステイを題材として、コミュニケーションの基本的態度についての知識を身につけることができる。
	学習内容	具体的目標	単元の観点別評価規準			
2	Starting Out	・ホームステイについて知り、考える。 ・have to を使った文の ・意味・用法を理解し、表現できる。	B ホームステイについての本文を積極的に音読しようとしている。 A に積極的に取り組んでいる C 発音の指導を行う	B have to, don't have to を用いて、自分の日課について英文を書くことができる。 A have to, don't have to を用いて、自分の発 でまとまった英文を書くことができる。 C 文の作り方を指導する。	B 助動詞(have to)が用いられている英文の意味を理解することができる。 A 本文の内容を聞いて、理解することができる。 C 基本文を提示し、内容の理解を図る。	B have to の文の ・意味・用法を理解できる。 A have to の文の ・意味・用法を理解し説明できる。 C have to の文について 度指導する。
2	Dialog	・will を用いた文の ・意味・用法を理解し、表現できる。	B ペアでの対話文の音読に積極的に取り組んでいる A ペアでの対話文でのに積極的に取り組んでいる C 発音の指導を行う	B 対話の中で will を用いて自分の意志を正しく適切に伝えることができる。 A 教科書の本文を えたりえたりしながら、対話を展開することができる。 C 音読指導を行なう。	B 助動詞(will)が用いられている英文の意味を理解することができる。 A 対話の内容を聞いて、理解することができる。 C 基本文を提示し、内容の理解を図る。	B will の文の ・意味・用法を理解できる。 A will の文の ・意味・用法を理解し説明できる。 C will の文について 度指導する。
3 (本 時 1 / 3)	Reading for Communication	・ホームステイに関する英文を読んで、内容を理解することができる。 ・助動詞を用いて、簡単な助言や忠告を表現することができる。	B 簡単な助言や忠告を表現しようとしている。 A 自分の発 で、助言や忠告を表現しようとしている C 発音やつづり、助動詞の用法を 度指導する	B 助動詞を用いながら、指示に って、簡単な助言や忠告を表現することができる。 A 助動詞を用いながら、自分の発 で、簡単な助言や忠告を表現することができる。 C 表現に必要なコーパスを与える。	B それ れの助動詞の意味を考えながら、内容を正しく読み取ることができる。 A 指示語や文のつながりも踏まえ、内容を正しく読み取ることができる。 C 助動詞の意味・用法を 度指導する。	B ホームステイ で こりうる 難を理解できる。 A 難を相手に伝えるための、基本的なコミュニケーションの知識を身につけることができる。 C ホームステイについて説明する。
1	Listening Plus 4	・ス ー を聞いて具体的な内容や大切な部分を聞き取ったり、質 応答に参 したりすることができる。	B ス ー の内容を聞き取ろうとしている A 聞き取った内容を基に、質 応答に参加しようとしている C 聞き取るポイントを指導する	B にたずねたいことを1つ考えることができる A にたずねたいことを2つ 上考えることができる C 英語でのたずね方を指導する	B 聞き取りの観点に って、ス ー の内容を聞き取ることができる A われたこと の内容についても聞き取ることができる C 教師が口頭で り す。	B ス ー の を理解できる。 A ス ー の を理解し、説明できる。 C ス ー の について 度指導する。